

日本新生児学会, 1983, 7, 東京.

15) Hirashima Y., Moto A., Koshu K., Nishijima M., Oka N., Kamiyama K., Endo S. and Takaku A. : Barbiturate effect on the activities of phospholipase A₁, A₂, lysophospholipase and acyl CoA : lysophospholipid acyltransferase in ischemic dog brain. 9th Meeting International Society for Neurochemistry, 1983, 7, Vancouver, Canada.

16) Endo S., Tsukamoto E., Kamiyama K., Oka N. and Takaku A. : Carotid endarterectomy without internal shunt under the mannitol administration-An analysis of 60 cases-. 7th European Congress of Neurosurgery, 1983, 9, Brussels, Belgium.

17) 藤井 勉, 清水昭規, 遠藤正臣, 岡 伸夫, 高久 晃 : 著明な鏡像書字を呈した大脳鎌小脳テント接合部髄膜腫の1症例. 第7回日本神経心理学会, 1983, 9, 北九州小倉.

18) 福田 修, 神山和世, 西崑美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃 : 興味ある経過をとった脳血管炎と思われる1例. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

19) 平島 豊, 本 敦文, 神山和世, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 本田 昂 : 虚血脳におけるPI-specific phospholipase C および lipase の経時的変化. 第26回循環代謝研究会, 1983, 10, 東京.

20) 岡 伸夫, 中田潤一, 平尾正人, 山谷和正, 新井研治, 遠藤俊郎, 高久 晃 : 実験的水頭症における血管構築, 第42回日本脳神経外科学会総会, 1983, 10, 大阪.

21) 平島 豊, 甲州啓二, 本 敦文, 堀江幸男, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃 : 虚血脳におけるPI specific phospholipase C および lipase の経時的変化. 第42回日本脳神経外科学会総会, 1983, 10, 大阪.

22) 遠藤俊郎, 神山和世, 西崑美知春, 岡 伸夫, 甲州啓二, 高久 晃 : 頸部内頸動脈高位狭窄病変に対する血栓内膜切除術, 第42回日本脳神経外科学会総会, 1983, 10, 大阪.

23) 堀江幸男, 高久 晃, 黒木登志夫 : ACNU による ACNU 耐性細胞の特異的誘導. 第42回日本癌学会総会, 1983, 10, 名古屋.

24) 杉田 毅, 甲州啓二, 栗本昌紀, 遠藤俊郎, 高久 晃 : Actinomycotic Brain Abscess の1例. 第10回日本脳神経外科学会中部地方会. 1983, 11, 豊明.

25) 中田潤一, 岡 伸夫, 西崑美知春, 遠藤俊郎,

高久 晃, 神山和世 : 頭蓋内血管狭窄を伴った側頭動脈炎の1例. 第10回日本脳神経外科学会中部地方会. 1983, 11, 豊明.

26) Nakada J., Nishijima M., Saito T. and Takaku A. : Post-operative regression of chronic subdural hematoma. 6th Asian Australasian Congress of Neurological Surgery. 1983, 11, Hong Kong.

整形外科学

教授	辻	陽	雄
助教授	玉	置	哲也
講師	伊	藤	達雄
講師	館	崎	慎一郎
助手	山	田	均
助手	野	口	哲夫
助手	加	藤	義治
助手	海	木	玄郷
助手	高	野	治雄
助手	岡	野	良文
文部技官	佐	野	明美

◆ 著 書

1) 辻 陽雄 : 脊椎と脊髄. 「現代の整形外科学」 榊田喜三郎他編, 415-516, 金原出版, 1983.

2) 辻 陽雄 : II. 治療編, 1. 腰痛治療総論—1, 2の基礎的問題を中心に—. 「腰痛, その診断と治療のすべて」 蓮江光男他編, 125-129, 金原出版, 1983.

3) 辻 陽雄 : 腰痛の鑑別診断. 「痛みの鑑別診断」, 43-51, メディカルトリビューン, 1983.

4) 玉置哲也 : 脊柱側弯症. 「今日の小児治療指針」, 加藤英夫他編, 607-609, 医学書院, 1983.

5) 玉置哲也 : 臨床神経生理学的検査法の整形外科診断への応用. 日本整形外科学会卒後研修用サウンドスライド集, 第61巻, 1983.

6) 川村次郎, 玉置哲也, 富永晨浩, 松矢正利, 広田茂美, 鈴木重行, 鮎沢芳穂, 収川方昭 : 麻痺筋に対する機能的電気刺激装置<整形外科の応用を中心にして>. 別冊整形外科, 4, 171-177, 1983.

7) Takada N. and Tatezaki S. : Role of fast-neutron radiotherapy in limb-saving, procedure in the treatment of osteosarcoma in children, In Tumor Prostheses for Bone & Joint Reconstruction-the design & application, by Chao E. Y. and Ivins J. S. (Ed.), 79-85,

Thieme-Stratton, 1983.

8) Tsuji H. : Laminoplasty for patients with compressive myelopathy due to so-called spinal canal stenosis in cervical and thoracic regions. The Year Book of Neurology and Neurosurgery, 350-353, 1983.

◆ 原 著

1) 玉置哲也, 辻 陽雄, 野口哲夫, 山田 均, 海木玄郷, 高野治雄, 森田多哉, 高桑一彦: 脊髄誘発電位による馬尾性間歇跛行の定量的観察の試み. 中部日整災外会誌 26: 462-464, 1983.

2) 吉岡 勉, 辻 陽雄, 加藤義治, 宮田美恵子, 西能正一郎, 西能 弘: 健常高校生の腰椎立位機能撮影における腰椎運動の幾何学的解析(その1). 整形外科バイオメカニクス 4: 121-125, 1983.

③ 辻 陽雄: 腰部椎間板ヘルニアとその周辺疾患の診断と治療——ヘルニア手術の問題点と前方術式. 日整外会誌 57: 982-985, 1983.

4) 川村次郎, 玉置哲也, 西原一嘉, 富永晨浩, 坂本隆弘, 松矢正利, 広田茂美, 鈴木重行, 林 義孝, 鮎沢芳穂: 電気刺激による麻痺筋の機能代償, 片麻痺内反尖足への応用を中心に. 総合リハ 11: 207-212, 1983.

5) 鈴木重行, 川村次郎, 坂本隆弘, 廣田茂美, 松矢正利, 浅野達雄, 林 義孝, 玉置哲也, 西原一嘉, 富永晨浩, 千住秀明: 脳卒中片麻痺患者に対する機能的電気刺激. 理療と治療 17: 231-235, 1983.

6) 本江 卓, 伊藤達雄, 海木玄郷, 浦山茂樹, 平野典和, 小田切喜美子, 辻 陽雄: 腰部脊柱管狭窄におけるメトリザマイドミエログラム知見補遺, ——とくに馬尾レリーフ像の静的動的变化と意義について——. 中部日整災外会誌 26: 664-666, 1983.

7) 辻 陽雄, 高木学治: 労働者の腰痛症における病態生理に関する研究. 日災医学会誌 31: 247-254, 1983.

8) 松井寿夫, 玉置哲也, 伊藤達雄, 藤井保寿, 西能 弘: 胸腰椎部脊椎損傷に対するハリントン手術について. 整形・災害外科 26: 511-516, 1983.

9) 加藤義治, 伊藤達雄: Neurofibromatosis に伴う顕著な頸椎角状後側弯変形の治療経験. 整形外科 34: 435-439, 1983.

10) 加藤義治, 伊藤達雄, 辻 陽雄: 下位脳神経損傷をともなう C₇ 頸髄損傷の1例. 整災外 26: 1241-1245, 1983.

11) 松井寿夫, 藤井保寿, 大内純太郎, 高野 祐,

館崎慎一郎, 高野治雄, 浦山茂樹, 北川正信, 深瀬真之: 骨盤骨に原発せる非分泌型骨髄腫 (IgG_K) の1剖検例. 臨床整形外科 18: 985-989, 1983.

12) 玉置哲也: 整形外科領域における神経・筋の臨床生理学的研究. 整災外 26: 1469-1475, 1983.

13) 山田 均, 伊藤達雄, 平野典和, 西島宗孝, 玉置哲也, 辻 陽雄, 寺沢捷年: 明らかな頸椎症変化を伴う脳脊髄疾患の臨床神経学的検討, 日整外会誌 57: 1434-1435, 1983.

14) 玉置哲也, 辻 陽雄, 野口哲夫, 山田 均, 高野治雄, 森田多哉, 高桑一彦: 馬尾神経間欠性跛行の発現機序解明への臨床神経学的アプローチ. 日整外会雑誌 57: 1480-1482, 1983.

15) 辻 陽雄, 野口哲夫, 本江 卓, 森田多哉, 小田切喜美子: 寛骨臼蓋底突出例の人工関節置換にさいしてのフィブリン糊を用いた骨移植の経験. 第2回フィブリン糊研究会記録, 35-37, 1983.

16) 伊藤達雄, 辻 陽雄, 海木玄郷: 頸部脊柱管拡大術, ——その手術手技について——. 整災外 26: 109-116, 1983.

17) 野口哲夫, 館崎慎一郎: 腰痛症に対する Zomepirac Sodium の使用経験. 薬理と治療 11: 473-478, 1983.

18) 市田隆文, 七沢 洋, 館崎慎一郎, 辻 陽雄: 中手骨腫脹を初発症状とした偽腺管型肝細胞癌の1例. 日本消化器病学会雑誌 80: 1631-1635, 1983.

19) 海木玄郷, 伊藤達雄, 山田 均, 玉置哲也, 辻 陽雄, 田村 茂: 外傷性高位頸髄損傷による respiratory quadriplegia の呼吸管理について. 整災外 26: 1981-1985, 1983.

◆ 総 説

1) 辻 陽雄: 頸椎・頸髄の外科/症例検討解説. 整災外 26: 1970-1974, 1983.

2) 辻 陽雄: 化膿性椎間板炎. 整形外科 34: 898-899, 1983.

3) 中川武夫, 今井克己, 村上正純, 玉置哲也: 脊髄誘発電位. 臨床検査 27: 1115-1119, 1983.

4) 玉置哲也: 整形外科領域における神経・筋の臨床生理学的研究. 整災外 26: 1469-1475, 1983.

◆ その他

1) 辻 陽雄: 腰痛は人間だけの病気です. あなたの健康 MEMO, NHK, 1983.

2) 辻 陽雄: 腰痛治療法の選択. Medicament News, 第1052号, 1983.

3) 辻 陽雄: 椎間板ヘルニア(放送内容), ゼリア新薬アワー, 1983.

4) 辻 陽雄: 労働と腰痛——その診断と治療.

とやま県医報 No. 867, 24-25, 1983.

◆ 学会報告

1) 森田多哉, 館崎慎一郎, 本江 卓, 松井寿夫, 西島宗孝, 辻 陽雄: Eosinophilic granuloma の 3 症例. 第86回北陸整形外科集談会, 1983, 3, 金沢.

2) 堤 博史, 浦山茂樹, 平野典和: 腰仙部基本撮影としての A-P, P-A 像の比較検討. 第86回北陸整形外科集談会, 1983, 3, 金沢.

3) 加藤義治: EHDP 大量投与による骨軟骨骨化障害 rat の autoradiography による検討. 医薬大 R I センター研究発表会, 1983, 3, 富山.

4) 辻 陽雄: 腰痛疾患の観血治療——適応と術式に関する問題と対策. 第21回日本医学会総会(シンポジウム), 1983, 4, 大阪.

5) 加藤義治, 辻 陽雄, 佐野明美: EHDP 大量投与による骨軟骨骨化障害 rat の autoradiography による検討. 第11回整形外科基礎研究会, 1983, 4, 京都.

6) 玉置哲也, 辻 陽雄, 野口哲夫, 山田 均, 高野治雄, 森田多哉, 高桑一彦: 馬尾神経間歇跛行の発現機序解明への臨床神経生理学的アプローチ. 第56回日本整形外科学会総会, 1983, 4, 京都.

7) 辻 陽雄: ヘルニア手術の問題点と前方術式. 第56回日本整形外科学会総会(シンポジウム), 1983, 4, 京都.

8) 山田 均, 伊藤達雄, 平野典和, 西島宗孝, 玉置哲也, 辻 陽雄, 寺沢捷年: 明らかな頸椎症性変化を伴う脳脊髄疾患の臨床神経学的検討. 第56回日本整形外科学会総会, 1983, 4, 京都.

9) 野口哲夫, 玉置哲也, 高野治雄, 高桑一彦, 森田多哉, 半田豊和, 山本智婦美, 辻 陽雄, 岡野良文, 宮田美恵子: 特発性脊柱側弯症における傍脊柱筋の緊張性振動反射について. 第17回側弯症研究会, 1983, 4, 京都.

10) 玉置哲也, 野口哲夫, 山田 均, 高野治雄, 岡野良夫, 高桑一彦, 森田多哉, 半田豊和, 辻 陽雄: 分節脊髄誘発電位による馬尾神経間欠性跛行の観察. 第6回脊髄モニタリングワークショップ, 1983, 4, 東京.

11) 碓 康子, 田村 茂, 松平洋子: Isokinetic movement (Cybex-II) を用いての膝関節可動域訓練について. 第8回北陸リハビリテーション医学集談会, 1983, 4, 金沢.

12) 玉置哲也, 宮田美恵子, 松井寿夫, 辻 陽雄: 脊柱側弯症に対する under arm brace (The New York Orthopedic Hospital Orthosis) 使用経験——第2報——. 第60回中部日本整形外科災害外科学会,

1983, 5, 京都.

13) 松井寿夫, 伊藤達雄, 本江 卓, 平野典和, 辻 陽雄: 腰椎椎間板造影法における俯瞰撮影法の有効性について. 第60回中部日本整形外科災害外科学会, 1983, 5, 京都.

14) 加藤義治, 伊藤達雄, 本江 卓, 平野典和, 小田切喜美子, 玉置哲也, 辻 陽雄, 神代靖久: C_{1/2} lateral puncture による metrizamide myelography の合併症. 第12回脊椎外科研究会, 1983, 6, 大阪.

15) 伊藤達雄, 山田 均, 海木玄郷, 高野治雄, 西島宗孝, 辻 陽雄: Multilevel cervical spondylosis に対する観血的治療法の選択へのわれわれの基本方針. 第12回脊椎外科研究会, 1983, 6, 大阪.

16) 伊藤達雄, 山田 均, 加藤義治, 米沢孝信, 辻 陽雄: 頸髄症に対する laminoplasty. 第87回北陸整形外科集談会, 1983, 6, 金沢.

17) 半田豊和, 山田 均, 館崎慎一郎, 海木玄郷, 西島宗孝, 辻 陽雄, 上山武史: 腹部大動脈壁に浸潤した腰椎カリエスの1例. 第87回北陸整形外科集談会, 1983, 6, 金沢.

19) 海木玄郷: 褥創に対するいわゆる G I 療法の効果. 富山県麻酔科医会昭和58年度第1回研究会, 1983, 6, 富山.

19) 田村 茂, 碓 康子, 松平洋子, 洲崎俊男: 慢性関節リウマチ患者の歩行用逆フック付コックアップスプリントの使用経験. 第17回日本作業療法学会, 1983, 6, 修善寺.

20) 松井寿夫, 館崎慎一郎, 平野典和, 辻 陽雄, 金本郁男: 四肢原発悪性腫瘍にたいする術前療法の基礎的研究——第5報——. 第16回骨・軟部腫瘍研究会, 1983, 7, 四日市.

21) 伊藤達雄, 海木玄郷, 米沢孝信: 頸髄症の評価に対する一私案. 第16回脊椎同好会, 1983, 8, 岡山.

22) 関戸弘通, 玉置哲也, 加藤義治, 高野治雄, 北野 悟, 高野 隆: 遺伝性知覚性ニューロパチーの2症例. 第88回北陸整形外科集談会, 1982, 9, 金沢.

23) 関谷繁樹, 藤井保寿, 宮田美恵子, 高桑一彦: 前骨間神経麻痺と思われる3症例について. 第88回北陸整形外科集談会, 1983, 9, 金沢.

24) 本江 卓, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 松井寿夫, 小坂泰啓, 八島省吾: 最近当院で経験した腰椎椎間板ヘルニア再手術8例の検討. 第88回北陸整形外科集談会, 1983, 9, 金沢.

25) Tamaki T.: Current status of spinal cord monitoring. 7th Phillip Zorab Scoliosis

Symposium, 1983, 10, London.

26) Tamaki T., Tsuji H., Noguchi T. and Takano H. : Neurophysiological studies on the intermittent claudication and the slacked cauda in patients with degenerative lumbar canal stenosis. 7th International Congress of Electromyography, 1983, 10, Munich.

27) Kaiki G., Tsuji H., Itoh T. and Tatezaki S. : Pathological study on destructive lesions of lower cervical spine due to rheumatoid arthritis. 3rd Congress, Spinal Section WPOA, 1983, 10, Tokyo.

28) Motoe T., Tsuji H. and Itoh T. : Clinical significance of redundant nerve roots in patients with degenerative lumbar canal stenosis. 3rd Congress, Spinal Section WPOA, 1983, 10, Tokyo.

29) Itoh T., Tsuji H., Yamada H. and Kaiki G. : Improvement of laminoplasty for the cervical myelopathy and clinical results. 3rd Congress, Spinal Section WPOA, 1983, 10, Tokyo.

30) Tamaki T. : The current scene of spinal cord monitoring. Informal Spinal Cord Monitoring Workshop, 1983, 10, London.

31) 小坂泰啓, 玉置哲也, 松井寿夫, 宮田美恵子, 大島 博, 高野 隆, 館崎慎一郎, 辻 陽雄: 当科で経験した先天性脊柱側弯症の検討. 第4回北陸先天異常研究会, 1983, 10, 金沢.

32) 海木玄郷, 高野治雄, 加藤義治, 野口哲夫, 伊藤達雄, 辻 陽雄: 頸肩腕症候群および腰痛症におけるミオナールの使用経験. 富山県ミオナール研究会, 1983, 11, 富山.

33) 辻 陽雄, 本江 卓, 伊藤達雄, 玉置哲也: 前側方髓核摘出術 (EPALD) の術後成績. 第61回中部日本整形外科災害外科学会, 1983, 11, 金沢.

34) 山田 均, 半田豊和, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 大島 博: 脊椎カリエスによる結核性大動脈炎について (仮性大動脈瘤形成例を中心として). 第61回中部日本整形外科災害外科学会, 1983, 11, 金沢.

35) 伊藤達雄, 辻 陽雄, 浦山茂樹, 米沢孝信, 石井 勉: 腰仙部X線診断における postero-anterior 像とその意義. 第61回中部日本整形外科災害外科学会, 1983, 11, 金沢.

36) 米沢孝信, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 海木玄郷, 辻 陽雄: 頸椎リウマチ患者にみられた constricting

band について. 第11回日本リウマチ・関節外科学会, 1983, 11, 広島.

37) 加藤義治, 辻 陽雄, 北野 悟, 佐野明美: EHDP 投与 Rat 脛骨, 腰椎の autoradiography ならびに硬組織所見. 第5回北陸 Ca 代謝談話会, 1983, 11, 金沢.

38) 川合 宏, 田村 茂: THR の Rehabilitation Program. 富山県 PT, OT 合同研修会, 1983, 11, 富山.

39) 田村 茂, 松永康子, 玉置哲也, 松井寿夫, 館崎慎一郎, 滝本辰二, 森田忠義: Socket-forming apparatus を用いて採型した片側骨盤切断用義足について. 第25回日本義肢装具研究会, 1983, 11, 北九州.

40) 高野治雄, 玉置哲也, 野口哲夫, 岡野良文, 森田多哉, 高桑一彦, 半田豊和: 脊髄刺激と末梢刺激による脊髄誘発電位の比較. 第13回日本脳波・筋電図学会, 1983, 12, 奈良.

41) 中川武夫, 今井克己, 村上正純, 井上駿一, 玉置哲也: 脊髄腫瘍における術中脊髄モニタリングの検討. 第13回日本脳波・筋電図学会, 1983, 12, 奈良.

42) 石井 勉, 館崎慎一郎, 浦山茂樹, 八島省吾: 診断に難渋した左脛骨原発悪性リンパ腫. 第89回北陸整形外科集談会, 1983, 12, 金沢.

43) 半田豊和, 辻 陽雄, 飯田鷗二, 田島剛一, 森 紀喜: 腰椎椎弓切除後に生じた極めて稀な ossified pseudocyst (ossified spurium) の一例. 第89回北陸整形外科集談会, 1983, 12, 金沢.

44) 高野 隆, 辻 陽雄, 山田 均, 館崎慎一郎, 高野治雄: Achondroplastic spinal stenosis の一例. 第89回北陸整形外科集談会, 1983, 12, 金沢.

45) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 加藤義治, 八島省吾, 関戸弘通, 小坂泰啓: 転移性胸椎腫瘍に対する Dual Ceramic Spacer Replacement. 第3回整形外科セラミックインプラント研究会, 1983, 12,

46) Itoh T., Tsuji H. and Katoh Y. : Laminoplasty, an operative method of enlarging the spinal canal, for cervical compressive myelopathy and its clinical results. 11th Annual Meeting, Cervical Spine Research Society, 1983, 12, Palm Beach, Florida.

◆ その他

1) 辻 陽雄: 外来のための腰痛概論. 第59回新潟整形外科研究会講演, 1983, 1, 新潟.

2) 辻 陽雄: 腰痛の保存治療とその考え方. 氷見医師会講演, 1983, 6, 氷見.

3) 辻 陽雄：外来レベルでの腰痛の基礎と臨床。吉富製薬学術講演会，1983，6，名古屋。

4) 辻 陽雄：痛みの科学——骨の危険信号と健康法——。第4回富山県婦人大学校講演，1983，8，富山。

5) 辻 陽雄：腰痛解析の基礎と臨床。第2回大分県整形外科セミナー講演，1983，8，大分。

6) 辻 陽雄：労働と腰痛——その診断と治療——。昭和58年度産業保険研修会講演，1983，10，富山。

7) 辻 陽雄：骨関節X線像の見方・考え方。砺波医師会講演，1983，11，砺波。

産科婦人科学

教授	泉 陸 一
講師	長 阪 恒 樹
講師	新 居 隆
講師	川 端 正 清
助手	細 川 仁
助手	山 岸 雅 司
助手	津 留 明 彦
助手	伏 木 弘

◆ 原 著

1) 泉 隆一，長阪恒樹，川端正清，新居 隆：卵巣がんの制癌剤感受性テスト。臨床婦産 37：481-486，1983。

2) 泉 隆一：endometrioid carcinoma。産と婦 50：795-799，1983。

3) 泉 隆一：腹痛をきたす小児の婦人科的疾患。小児内科 15：207-211，1983。

4) 柳沼 恣，泉 隆一：Polycystic ovary syndrome。日本臨床 41春季増刊号「本邦臨床統計集」：891-897，1983。

5) 柳沼 恣，小林拓郎，長阪恒樹，泉 隆一：閉経あるいは去勢後婦人のLH放出に対する Danazol の効果。日本内分泌 59：1458，1983。

6) 泉 隆一：低悪性度腺腫の予後診断。産と婦 49：470-472，1982。

◆ その 他

1) 泉 隆一：子宮の炎症。「今日の治療指針」，623-624，医学書院，1983。

2) 泉 隆一，柳沼 恣：Stein-Leventhal Syndrome。小児内科 15増刊号「小児症候群」，663，1983。

3) 泉 隆一，長阪恒樹：Toxic shock

syndrome。小児内科 15増刊号「小児症候群」，699，1983。

◆ 学会報告

1) 長阪恒樹，柳沼 恣，泉 隆一，藤盛亮寿：大量の Danazol の LH濃度に対する効果。第4回エンドメトリオーゼス研究会，1983，1，京都。

2) 柳沼 恣，長阪恒樹，泉 隆一，藤盛亮寿：常用量の Danazol の LHおよび Estradiol の放出に対する効果。第4回エンドメトリオーゼス研究会，1983，1，京都。

3) 長阪恒樹，新居 隆，泉 隆一，柳沼 恣，川端正清，細川 仁，八木義仁，加藤 潔，山岸雅司，伏木 弘，津留明彦：当科におけるマイクロサージェリー研修の実際。第11回日産婦学会北陸連合地方部会，1983，6，富山。

4) 川端正清，泉 隆一，柳沼 恣，長阪恒樹，新居 隆，細川 仁，八木義仁，加藤 潔，山岸雅司：癌化学療法における副作用から見た多剤併用療法の問題点。第11回日産婦学会北陸連合地方部会，1983，6，富山。

5) 加藤 潔，八木義仁，長阪恒樹，泉 隆一，柳沼 恣，新居 隆，川端正清，細川 仁，山岸雅司：malignant mixed müllerian tumor の一例。第11回日産婦学会北陸連合地方部会，1983，6，富山。

6) Nagasaka T., Izumi R., Kawabata M. and Yaginuma T.: Evaluation of in Vitro Chemosensitivity Test for Human Gynecologic Cancer. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

7) Nagasaka T., Yaginuma T., Izumi R. and Minaguchi H.: Antigonadotropic Effects of Danazol. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

8) Kawabata M., Izumi R., Yaginuma T. and Nagasaka T.: Characterization of a Newly Established Human Tumor Cell Line from a Patient with Cervical Cancer and its Sensitivity to Anticancer Agents in Vivo and in Vitro. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

9) Yaginuma T., Izumi R., Arai T. and Kawabata M.: Estrogen Positive Feedback can Function without Blood LH Pulse. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

10) Yaginuma T., Nagasaka T., Izumi R. and Kawabata M.: Effect of Shakuyaku-Kanzo-